

ご意見と回答

提案・意見

小幅の橋の利用について(回答:11 月 28 日時点)

(2025 年 11 月受付)

ぎゅーとらハイジさん横の桧尻川に、小幅の橋が最近開通しました。

すぐ横には八間道路にかかる橋があり、車歩道も分かれています。

この橋の一番の利用目的は何でしょうか。地元から強い要望でもあったのでしょうか。桧尻川の治水安全対策と関係あるのでしょうか。

今のところ、橋として利用する人は大変少ないように見受けられますが...

回答

現在、伊勢市において県道宇治山田港伊勢市停車場線(通称:八間道路)から桧尻川沿いに伊勢赤十字病院までの区間の、市道整備を進めております。

その関連事業として、令和 7 年度に桧尻川へ歩道橋を新たに設置させていただきました。この整備は、県道へ市道が接続する交差点を新たに設置することに伴い、右折車線が必要となることから、現在の桧尻橋の歩道部分を車道として利用する計画であり、歩道機能を回復するために新たな歩道橋を設置いたしました。

なお、本件については地元からのご要望や桧尻川の治水対策とは関係なく、あくまでも道路事業の一環として実施しております。

広報広報課(2025 年 11 月回答(11 月 25 日~28 日))

カテゴリ:まちづくり・インフラ>道路・河川

ご意見と回答

提案・意見

自治会の加入、ゴミの収集について(回答:11月28日時点)

(2025年11月受付)

伊勢市では、自治会への加入は、強制なのでしょうか？

個人の意志により加入、未加入の選択ができるのでしょうか？

また、自治会に加入しないとゴミを出すことが出来ないのでしょうか？

自治会から「出せない」と聞きました。

市民税などの納入はしております。本当にゴミを出せないのでしょうか？

明確なご回答をお願いします。

回答

自治会は、地域にお住まいの皆様が自主的に運営する任意団体であり、地域の安全確保、防災活動、地域行事の運営、ごみの集積所の維持管理など、地域の暮らしに密接に関連した活動を行い、住みよいまちづくり活動に取り組んでいます。地域の皆様が助け合いながら生活を営む基盤として自治会は重要な役割を担っていることから、市としましてはその活動を支援しております。一方で、加入についてはあくまでも個人の意志に基づく選択となりますので、強制ではありません。

ごみはその種類により、集積所や資源ステーション、資源拠点ステーションへお出しいただくことになっております。

その中で、燃えるごみは、地域に設置されている集積所に出していただき、集積所の管理、使用方法是集積所が自治会の持ち物であることから、それぞれの判断・ルールに基づく運用になると考えております。

地域の皆さまが円滑にごみ集積所でごみの管理をしていただきたいと考えておりますが、自治会と折り合いがつかない場合は、ごみ減量課までご相談ください。

市民交流課・ごみ減量課(2025年11月回答(11月25日～28日))

カテゴリ: <暮らし・環境> ごみ

ご意見と回答

提案・意見

重点支援地方交付金について(回答:11月28日)

(2025年11月受付)

重点支援地方交付金とは何んでしょう

1. コロナ感染のときに伊勢市が商品券を販売し個人消費を喚起していた原資でしょうか。
2. 日本国から伊勢市にどれ程配分されていますか。
3. 自治体は自由に使えるのでしょうか。

回答

1. コロナ禍・物価高騰対策として発行したプレミアム付商品券は、国の交付金を活用しております。
2. 令和5年度から令和7年度までに約45億円交付されております。
3. プレミアム付商品券や学校給食の支援など、国から示された推奨事業メニューの中で使うことができます。

財政課(2025年11月回答(11月25日～28日))

カテゴリ:その他>その他

ご意見と回答

提案・意見

緊急銃猟(回答:11月25日)

(2025年11月受付)

伊勢市内のクマ出現状況はどのような状況ですか

全国的被害がでていますが。秋田県のような自衛隊出動てきな問題があるのではないのでしょうか

都道府県や市町村は長年民間人の猟友会に低賃金で最大危険度マックスのなか市長や地方公務員は安全な所で物事をきめている。市長が先頭に立って、狩猟免許を取得して現場に出るべきである。

回答

伊勢市内においては、現在までに熊が撮影された写真や映像、熊と思われる痕跡等は確認されておられません。

しかしながら、全国的に熊の出没件数が増え、県内においても出没情報があるなど、熊の出没が危惧される状況のなか、県や近隣市町等との情報共有を行い、適切な対応を行うよう取り組んでおります。

現在、本市では熊による人身被害を未然に防ぐため、目撃情報等が寄せられた場合は、他市町で黒い色の鹿や猪との見間違いも多くあるなか、熊らしきものも含め、目撃場所付近の痕跡確認や固定カメラ設置による監視、周辺パトロールの実施のほか、ドライブレコーダーの映像があれば確認するなど、その目撃情報等の正確性を十分に確認したうえで、関係機関と必要な対応を協議しております。

また、今後熊の出没が確認された場合に備え、県、警察、猟友会など関係機関と連携し、研修会の実施や必要な体制の整備に取り組んでいるところです。

市民の安全確保を第一に考え、今後も関係機関との連携を密に行い、被害防止に取り組んでまいりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

農林水産課(2025年11月回答(11月25日~28日))

カテゴリ:<暮らし・環境>環境

ご意見と回答

提案・意見

選挙の供託金について(回答:11月27日時点)

(2025年11月受付)

1. 選挙に立候補するに供託金を納めるのは悪ふざけを防ぐ意味かと思いますが本来の趣旨は何でしょう。
2. 投票したい人がいないと思うと投票に行かない人が増え投票を放棄してしまい民主主義が機能しなくなるよう思います。市議会議員で供託金は30万円と聞きましたが10万円ぐらいに下げ立候補しやすいようにしたらどうですか。
3. 供託金は投票数により没収又は返納されるそうですが素人に判るように教授下さい。
4. 市長の供託金はいくらですか。
5. 選挙の投票率を上げたいと伊勢市は思いませんか 理想数として70%くらいでしょうか
6. どうしたら投票率が上がると思いますか
7. 法定得票率とは何でしょう

回答

1 供託は、当選を争う意思のない人が売名などの理由で無責任に立候補することを防ぐための制度です。

2 供託金の額は公職選挙法において定められているため、伊勢市が独自に変更することはできません。

3 市長及び市議会議員選挙の供託金没収については以下のとおりです。

市長については有効投票総数(総投票数から無効票数を引いたもの)を10で除した数が供託没収の得票数です。

市議については有効投票総数を10で除し、さらに議員定数(伊勢市の場合は24名)で除した数が供託没収の得票数です。

4 指定都市の長については240万円、その他の都市の長については100万円と定められております。

5・6 伊勢市では投票率の低い若者世代の投票率を上げるため、近い将来有権者になる市内の中学生や高校生を中心とした出前

授業や模擬投票などの啓発活動を行っております。

7 法定得票数とは、選挙で当選するために必要な最低得票数です。

この制度は、極端に少ない票で当選することを防ぎ、代表としてのふさわしさを確保するために設けられています。

地方公共団体の長の選挙における法定得票数は有効投票総数の4分の1以上です。

地方公共団体の議会の議員の選挙における法定得票数は有効投票総数を議員定数で除した数の4分の1以上です。

選挙管理委員会事務局(2025年11月回答(11月25日～28日))

カテゴリ: その他> その他